

2026年1月25日発行

飯島 大邦編著 中央大学出版部発行

410ページ

定価5,200円＜税別＞

はしがき		飯島 大邦
第Ⅰ部 産業・エネルギー		
第1章	持続可能なガバナンスとデジタル投資における協力の枠組み	田中 廣滋
第2章	米国・欧州・日本における巨大IT企業への規制強化	谷口 洋志
第3章	米Silicon Slopesの産業発展—要因と現状	太田 耕史郎
第4章	エネルギー危機と持続可能性 —レジリエンス強化への道筋—	本間 聡
第5章	原子力発電の政治的コスト	奥井 克美
第Ⅱ部 地域社会		
第6章	行政需要の構造 —市民の行政需要と行政ニーズの認知の変遷—	三船 毅
第7章	地域創生、ウェルビーイングと持続可能性 —「千葉県及び千葉市における住民意識調査」に基づく考察—	矢尾板 俊平
第8章	地域の観光発展と持続可能性	藪田 雅弘
第9章	社会資本の老朽化と対策	塩見 英治
第10章	地域公共交通の再生に向けた課題と提言	松野 由希
第Ⅲ部 人口		
第11章	人口階層の構造的粘着化とべき乗則による検証 —減少と集中が併存する日本の人口課題—	細野 助博
第12章	東北地方内・東京圏間の年齢階層別人口移動	小松 真治 中澤 克佳
第13章	東京23区の人口移動分析—東京一極集中の実態—	御船 洋
第14章	出生率と家族社会支出の関係 —二次元固定効果モデルによる国際比較—	飯島 大邦
第15章	男性の育児休暇取得が子育て意識に与える影響の国際比較分析	鈴木 俊光